

神戸市感染症発生動向調査週報

平成30年8月20日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所 (内訳) 東灘6, 灘3, 中央3, 兵庫3,
設置定点数 48 ケ所 北8, 長田3, 須磨6, 垂水8, 西8

第 32週

平成30年8月6日

～

平成30年8月12日

インフルエンザ

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～
インフルエンザ	1									1												1								

小児科

報告定点数 31 ケ所 (内訳) 東灘4, 灘2, 中央2, 兵庫2,
設置定点数 31 ケ所 北5, 長田2, 須磨4, 垂水5, 西5

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～	
RSウイルス感染症	11	1	2		3	3	6	15	1	42	2	11	19	4	5	1									
咽頭結膜熱	5				3		1	1	1	11		1		1	3	2	2			1	1				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	3	1				2	6	3	17			1	1	2	1	1	2	2		2	4		1	
感染性胃腸炎	1	1	9	10	16	7	19	38	16	117	3	19	14	9	14	8	7	7	7	3	2	10	1	13	
水痘		1		1	3	1	1	2	1	10					1			3	2	1	1	1		1	
手足口病	8	1	3		3	1	6	4		26		2	4	4	4	3	6	1		2					
伝染性紅斑										0															
突発性発疹	1						4	1		6			4	1	1										
ヘルパンギーナ	2		2	5	5	3	7	11	9	44	1	3	8	10	6	8	4	1	1		1	1			
流行性耳下腺炎	1								1	2					1							1			

百日咳は、平成30年1月1日から全数報告となりました。医療機関で患者を診断した際には、届出基準に基づき、届出の提出をお願いいたします。

眼科

報告定点数 10 ケ所 (内訳) 東灘1, 灘1, 中央1, 兵庫1,
設置定点数 10 ケ所 北1, 長田1, 須磨1, 垂水1, 西2

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～
急性出血性結膜炎										0																			
流行性角結膜炎	2					2		1		5			1												2			2	

【定点機関から報告されたその他の感染症情報】

垂水区〇細菌性腸炎(病原性大腸菌O1)1例:年齢性別不詳

【基幹定点(市内3ヶ所)からの報告】

無菌性髄膜炎2例:0歳1か月 男、7歳 女

【市内の感染症の状況】

〇ヘルパンギーナ

例年、夏に流行するヘルパンギーナの定点医療機関からの患者報告数が増加しています。神戸モデル連絡票(※)でも子どもの施設から報告がありました。原因となる主なウイルスはコクサッキーウイルスです。このウイルスはアルコールが効きにくいので、施設等で患者が発生した際は、次亜塩素酸ナトリウムでの消毒を行きましょう。(※) **神戸モデル**(感染症早期探知・地域連携システム):地域・学校園・施設・医療機関等と保健所・区との連携強化により感染症予防を図る取組み。施設で1週間に2名以上の感染症患者が発生した時、早期に保健所保健センターへ報告する連携体制がある。

〇RSウイルス感染症

RSウイルス感染症の定点医療機関からの患者報告数が増加しています。RSについても神戸モデル連絡票で子どもの施設からの報告がありました。例年と比較して早い時期に患者が増加しているため、今後の動向に注意が必要です。

8月に入ってから、神戸市内で食中毒による営業停止処分が2例ありました。2件とも病因物質はカンピロバクターで加熱不十分な鶏肉を含む料理が原因でした。カンピロバクターによる食中毒は、生や加熱不足の鶏肉が原因となることが多く、喫食から1～7日後に下痢、腹痛、発熱などの症状を発症し、稀にギラン・バレー症候群を発症することがあります。過去の厚生労働科学研究の結果では市販の鶏肉からカンピロバクターが高い割合(20～100%)で検出されており、「新鮮だから安全」というわけではありません。カンピロバクターは低温に強く、少量の菌量で感染する特徴があります。鶏肉は中心部まで十分に加熱(中心部を75℃以上で1分間以上)しましょう。また、手や調理器具を介して他の食材に菌が移らないよう注意しましょう。

[家庭調理の心得](#) [厚生労働省HP](#)

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向](#) [【検索】](#)

[「I」情報センター](#) ホームページを開設しています。詳細は[こちらをクリック](#)

神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター 2018年8月16日作成

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 後天性免疫不全症候群)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	40代	2018年8月1日	2018年8月6日	2018年8月6日	AIDS	ELISA法 Western Blot法	単純ヘルペスウイルス感染症	異性間性的接触	

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	0~4歳	2018年8月3日	2018年8月3日	2018年8月4日	-	分離・同定による 病原体の検出 (血液)	発熱、痙攣 菌血症	不明	ワクチン接種あり (4回)

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 梅毒)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	10代	2018年7月	2018年7月30日	2018年7月30日	早期顕症梅毒Ⅰ期	RPRカードテスト TPHA法	初期硬結 鼠径部リンパ節腫 脹 (無痛性)	異性間性的接触	-

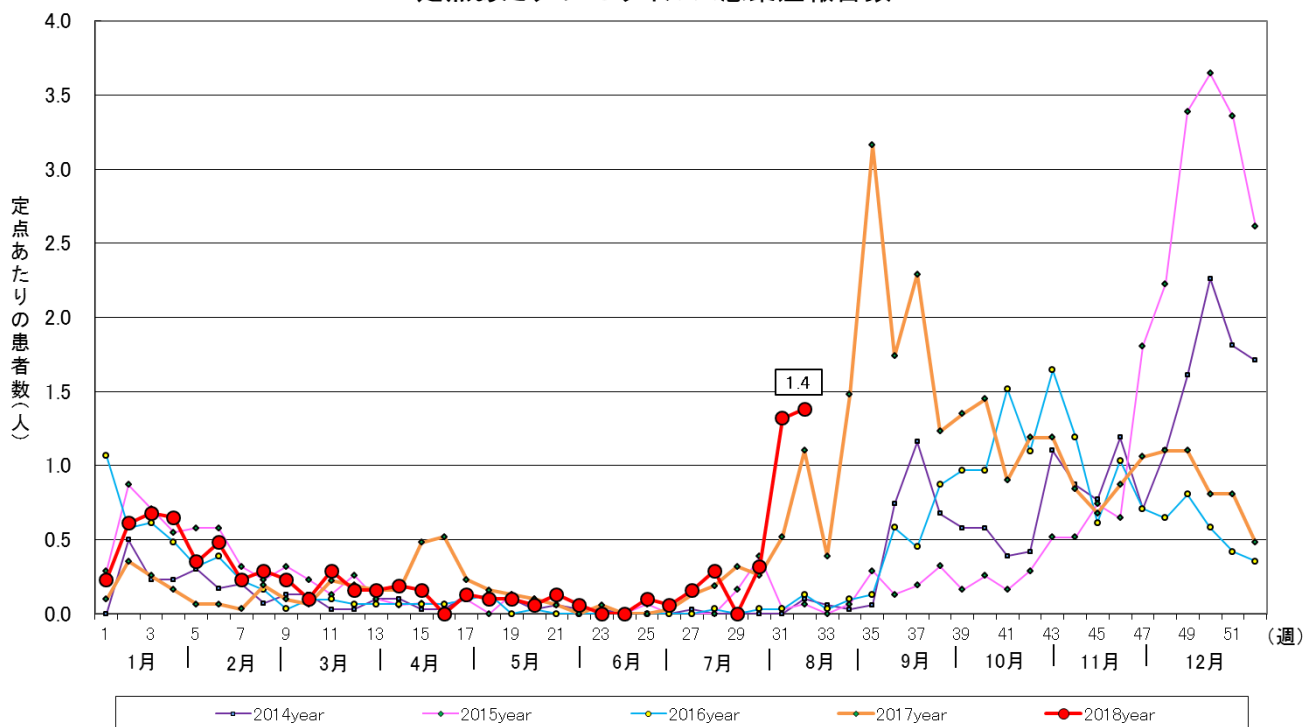
全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 百日咳)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	5~9歳	2018年7月30日	2018年8月3日	2018年8月10日	-	検体からの病原体遺伝子 の検出 (LAMP法)	持続する咳 夜間の咳き込み	不明	ワクチン接種歴あり (4回)

神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
エコーウイルス11型	髄液	中央	0歳1ヶ月男 (7/30採取、39.3℃、無菌性髄膜炎)
	咽頭ぬぐい液 便	東灘	0歳4ヶ月男 (8/3採取、38.3℃、ヘルパンギーナ)
エコーウイルス18型	咽頭ぬぐい液	西	7歳2ヶ月男 (7/30採取、38.2℃、咽頭炎)
RSウイルス	鼻腔ぬぐい液	須磨	2歳7ヶ月女 (7/30採取、39.4℃、RSウイルス感染症)
	鼻腔ぬぐい液	垂水	1歳10ヶ月男 (7/30採取、39℃、気管支炎、RSウイルス感染症)
アデノウイルス41型	便	西	2歳7ヶ月女 (8/1採取、発熱なし、感染性胃腸炎)
レジオネラ・ニューモフィラ	分離株	中央	55歳、男 血清群1, 遺伝子型: ST507 (土壌分離株が多く含まれるS1グループに属した)
レジオネラ・ニューモフィラ	分離株	長田	79歳、男 血清群1, 遺伝子型: ST18 (土壌分離株が多く含まれるS1グループに属した)

定点あたりのRSウイルス感染症報告数



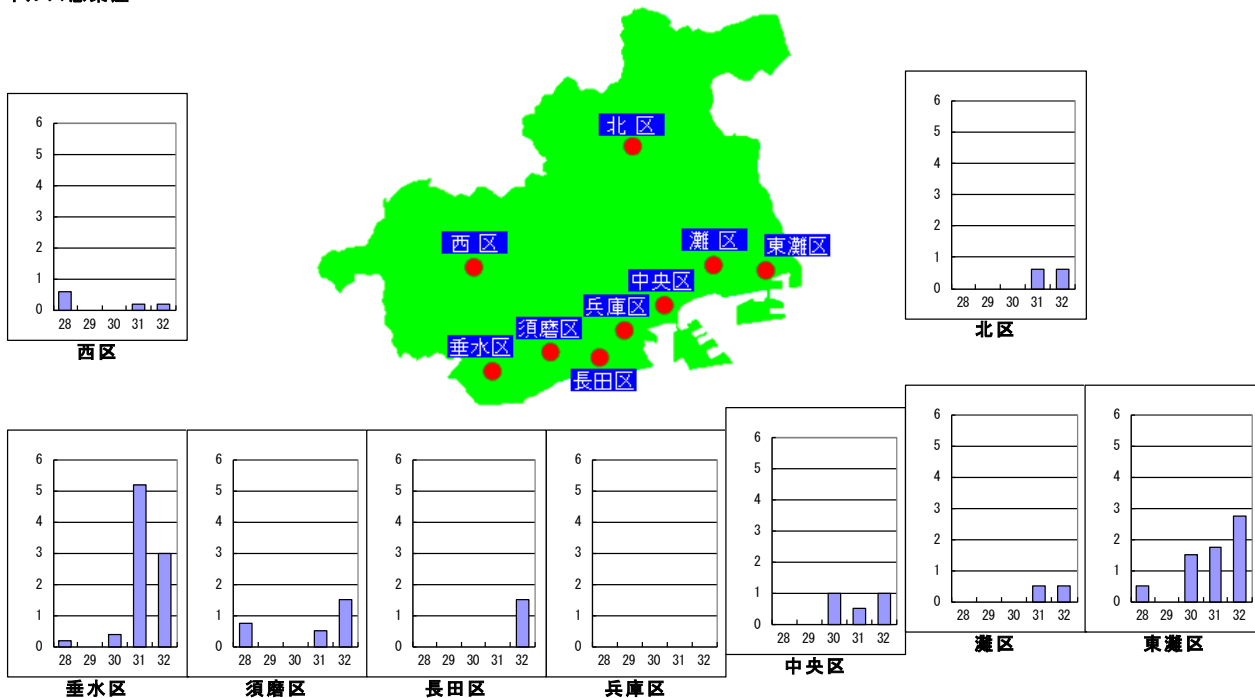
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 28 週 平成30年7月9日

～

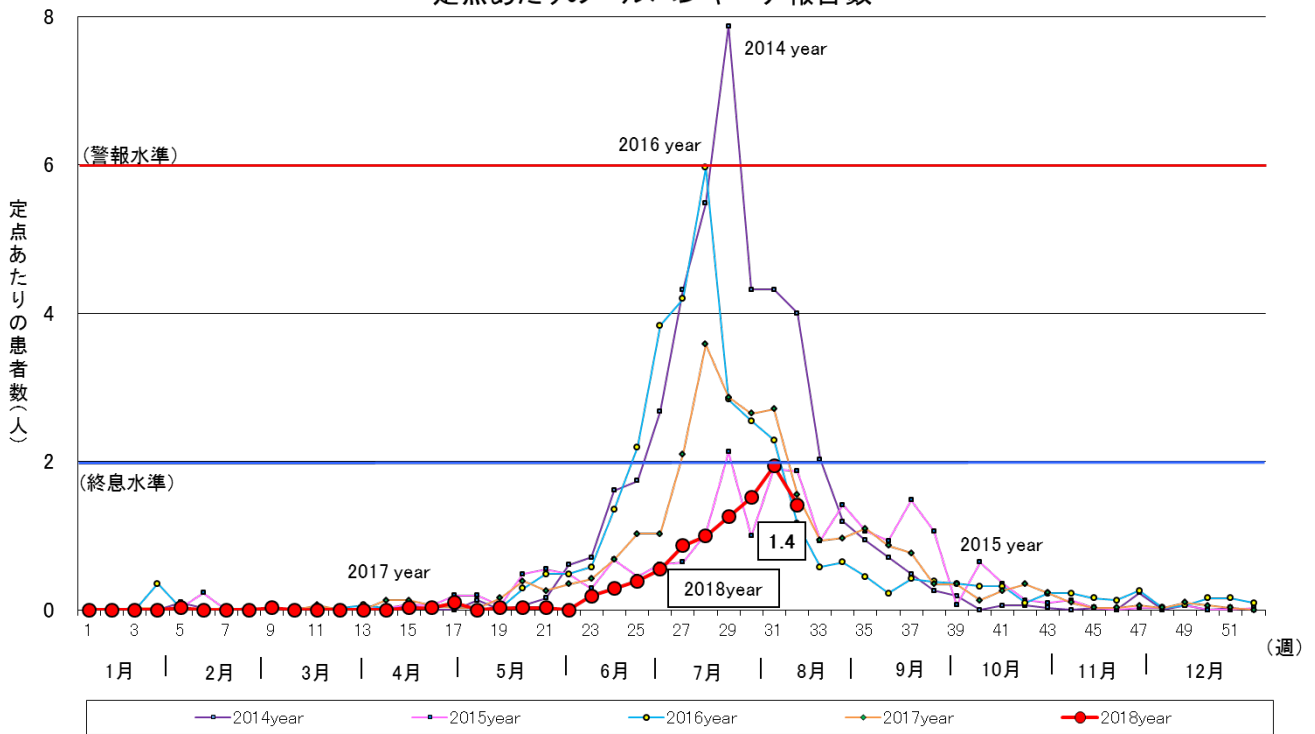
第 32 週 平成30年8月12日

RSウイルス感染症



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

定点あたりのヘルパンギーナ報告数



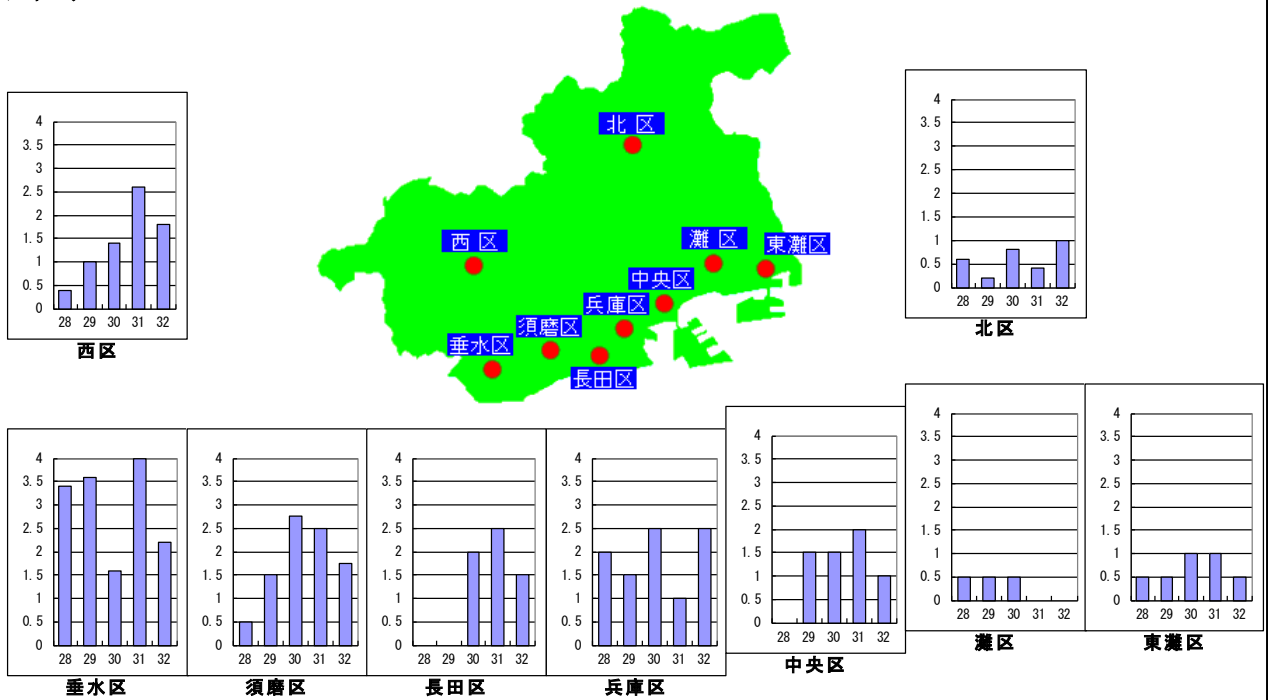
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 28 週 平成30年7月9日

~

第 32 週 平成30年8月12日

ヘルパンギーナ



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。